

虫刺され後の全身湿疹と下腿の腫脹・浸出液を経て皮膚状態と検査値が変化した成人アトピーの経過 (51 歳 成人)

症例 ID：001-50-KN3

記録日：2017 年 6 月 14 日

1. 診断・治療前経過

2016 年 4 月、腕の虫刺されにステロイドを含む市販薬を使用した後、湿疹が全身へ広がりました。病院で注射とデルモベートを使用すると、顔の腫れと頬の赤い湿疹が出ました。

同年秋にも足首の虫刺されから湿疹が全身へ広がり、足首にステロイド外用薬を使用した後、症状がさらに強くなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	虫刺されにステロイド配合の市販薬を使用し、医療機関でデルモベートなどの外用薬を使用しました。
製品名	デルモベート、ムヒアルファなど。
強度	デルモベートは最強クラスです。
使用期間	2016 年の春と秋に断続的に使用しました。
中止時期	2016 年秋の悪化後です。
来院前／後	来院前に使用しました。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2016 年 4 月	初回悪化	腕の虫刺され後、湿疹が全身へ広がり、顔の腫れも出ました。
その後約 3 か月	一時軽減	ステロイドを使わずに過ごし、症状はいったん落ち着きました。
2016 年秋	再燃	足首の虫刺されを契機に、全身へ湿疹が再び広がりました。
入院 9 日間	一時的変化	足首の傷と全身の皮疹が一時的に落ち着きました。
退院後	症状のピーク	両下腿が赤く腫れて強く痛み、浸出液が多量に出て、過去に外用した部位にも湿疹が広がりました。
2017 年 2 月頃	治療開始	漢方薬、抗ウイルス薬、皮膚処置を開始しました。
2017 年 5 月	検査値の変化	TARC、好酸球数、CRP が低下し、総蛋白とリンパ球数が上昇しました。
2017 年 6 月	記録時点	下腿、体幹、上肢の赤みと腫れは、経過写真で段階的な変化がみられました。

4. ピーク時期

ピークは、2016 年秋の入院後に両下腿が赤く腫れて強く痛み、浸出液が流れ続け、全身へ湿疹が広がった時期です。

5. 困りごと

- ・両下腿の強い痛みと多量の浸出液により、歩行や日常動作に支障がありました。
- ・足首以外にも、過去に外用薬を使用した部位へ湿疹が広がりました。
- ・複数の医療機関を受診しても治療方針が定まらず、不安が続きました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

検査日	項目	値
2017 年 2 月 18 日	LDH	264
2017 年 5 月 9 日	LDH	271
2017 年 2 月 18 日	TARC	3019

検査日	項目	値
2017 年 5 月 9 日	TARC	756
2017 年 2 月 18 日	好酸球（絶対数）	1541
2017 年 5 月 9 日	好酸球（絶対数）	395
2017 年 2 月 18 日	CRP	0.57
2017 年 5 月 9 日	CRP	0.05 以下
2017 年 2 月 18 日	総 IgE	372
2017 年 5 月 9 日	総 IgE	750
2017 年 2 月 18 日	リンパ球（絶対数）	1407
2017 年 5 月 9 日	リンパ球（絶対数）	3001
2017 年 2 月 18 日	総蛋白	6.0
2017 年 5 月 9 日	総蛋白	7.6



2017 年 2 月 19 日頃の皮膚状態。



2017 年 2 月 21～22 日頃の皮膚状態。



2017 年 2 月 21～22 日頃の皮膚状態。



2017 年 2 月 21～22 日頃の皮膚状態。



2017 年 2 月 27～28 日頃の皮膚状態。



2017 年 2 月 27～28 日頃の皮膚状態。

検査日	項目	値
		
		
		
	2017 年 3 月 1～4 日頃の皮膚状態。	
		
		
		
	2017 年 3 月 5～15 日頃の皮膚状態。	
		
		
		
	2017 年 3 月 24 日頃の皮膚状態。	
	2017 年 4 月 4～19 日頃の皮膚状態。	

検査日	項目	値
		
		2017 年 4 月 4～19 日頃の皮膚状態。
		
		2017 年 5 月 19 日～6 月 14 日頃の皮膚状態。
		
		2017 年 5 月 19 日～6 月 14 日頃の皮膚状態。
		
		2017 年 5 月 19 日～6 月 14 日頃の皮膚状態。
		
		2017 年 5 月 19 日～6 月 14 日頃の皮膚状態。
		
		2017 年 5 月 19 日～6 月 14 日頃の皮膚状態。

7. 経過のまとめ

2017 年 2 月から 6 月にかけて、下腿、上肢、体幹の赤み、腫れ、皮膚状態に段階的な変化がみられました。

2017 年 5 月には TARC が 3019 から 756、好酸球数が 1541 から 395、CRP が 0.57 から 0.05 以下となり、総蛋白は 6.0 から 7.6 へ変化しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。